



憧憬

あこがれ

福島県立坂下高等学校 P T A 会報 第 7 6 号

令和 2 年 3 月 1 日 発行

坂下高等学校PTA会報



会津のよさは 盛りだくさん

校長 松尾 幸生

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、昨年の本会報第七四号では、「会津のよさは食のよさ」と題して、会津の素晴らしい食材と食文化について、更に、育ち盛りの高校生にとつての食生活の重要性について述べました。本号では、「会津のよさは盛りだくさん」と題して、少し述べてみたいと思います。

普段、あまり意識せずに過ごしていると忘れてしまいがちですが、会津のよさは極めて沢山あります。自然、空気、水は言うまでもございませんが、世界に誇れる歴史、文化、伝統芸能、伝統工芸、産業技術、学術などがございます。北に磐梯山ジオパーク、南に只見ユネスコエコパーク、会津地方は豊かな自然に囲まれた美しい土地で、本校所在地の会津坂下町が位置する会津平においては、鶴ヶ城に代表される歴史や、文化、伝統が

今も息づいています。国の伝統的工芸品に指定されている会津漆器をはじめ、素朴ながらも美しい地縞が特徴の会津木綿などの伝統工芸が、四百年以上に渡り受け継がれています。伝統を守る一方で、日本で最初のコンピュータ理工学専門の大学である会津大学が一九九三年に開学したことにより、ICT関連企業が多く存在し、地域ではスマートシティの実現に向けても取り組んでいます。

地域を理解することは、地域の魅力に気づく機会であり、また、地域を更に魅力的にするために必要なこと、アイデア、課題等に気づく機会であると思います。ご家庭においても、会津のよさを再確認するような会話、取り組み、旅行などの機会をつくっていただければ幸いです。

坂下高校は、活力ある地域づくりに貢献できる人材の育成を目標に、一層尽力して参ります。